

第13回 伊万里 梅まつり



2月21日、赤須町の伊万里梅園（藤ノ尾）で伊万里梅まつりがありました。これは、約25畝と西九州一の広さを誇る梅の産地をPRし、梅を身近な食材として感じてもらおうと、開催されたものです。前日の雨も上がり快晴となったこの日、園内では、梅うどんや梅ごはんなど梅を使った軽食や地元農産物の販売のほか、梅学習発表会や梅の種とぼし大会などが行われました。市内外から訪れた多くの来園者は、早春の日差しを浴びて咲き誇る白や紅色の花を満喫し、一足早い春の訪れを楽しんでいました。



↑梅うどんと梅ごはん



力を合わせて『もちつき』



めざせ新記録『梅の種飛ばし大会』



伊万里の梅を使った加工品販売



↑梅学習発表会では、伊万里小学校3年生（写真・左）と牧島小学校3年生（同・右）の児童たちが1年間で学んだことを踊りや寸劇を交えて発表



美しく咲き誇る梅の花に見入る来園者



人のうごき

平成 28 年 3 月 1 日現在

- 人口 56,305 人 (+ 8)
- 男 27,019 人 (+ 15)
- 女 29,286 人 (- 7)
- 世帯 22,827 世帯 (+ 28)
- () は前月比

広報 伊万里 2016-4

- 発行日/平成 28 年 4 月 1 日
- 発行編集/伊万里市情報広報課広報係 (0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
- 伊万里市のホームページ <http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷/山口印刷株式会社

『食育』という言葉を知っていますか。食育基本法（平成17年）では、『さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること（抜粋）だそうです。法制定の背景には、特に子どもたちに対する食育は心身の成長や人格形成にも大きな影響を及ぼすことから重要であること、また、食の安全確保や、近年の偏った栄養摂取、朝食欠如といった食生活の乱れなどが深刻化していることなどがあるようです。さて、食に関しては、先月号まで24回にわたり、『伊万里のレシピ』コーナー（ほかからページ）で伊万里の旬の食材を使ったレシピや食育ポイントを紹介してきました。今月からシリーズ第2弾として、子どもたちの食育活動を紹介していきます。日々忙しい生活を送る中でおろそかになりがちな、食（食育）の大切さについて、私も改めて考える機会をいただきました。自然の恩恵や、生産者をはじめ『食』に関わる多くの人たちへの感謝の気持ちを大切にしたいと思います。（上）

編集室から